

街づくりへの胎動

近代的な空港を抱え、道路網の中心に位置する南門市。教育機関は県下でも最も多く、企業の誘致も進んでいます。粗削りながら将来性を秘めた魅力のある街です。

だが都市計画には手が付かず、中心市街区域は空洞化が進み、商業機能や街の外観、文化という点では、かなり減点しなければなりません。

市外へ流出する購買力は約八

若手商業者が起爆剤

これまで不安を抱えながらも、これといった動きのなかった中心地域の事業者や市民に、今新しい動きが広がっています。

その契機となったのは市商工会青年部（溝淵修一郎長）の研究活動で、地道な取組が「新しい街づくりを考える公開パネルディスカッション」へと結実しました。

六月二十九日に開催されたこの本格的な都市問題研究会には、商業関係者を中心に、市民約百二十人が参加し、関心の高さを見せつけました。

溝淵部長は「一年間『高度化研究会』を続けてきたが、自分たちだけでは限界がある。もうひとわり大きい市民のうねりで街づくりを進めたい」と話しています。

こうした取組が波紋を起し、人々の心を動かしているのです。

「何とかせんといかん……」まだ漠然としたものながら、関係市民がそう思い始めたのも確か。模索への第一歩を今踏み出したのです。

具体的な動きが始まる

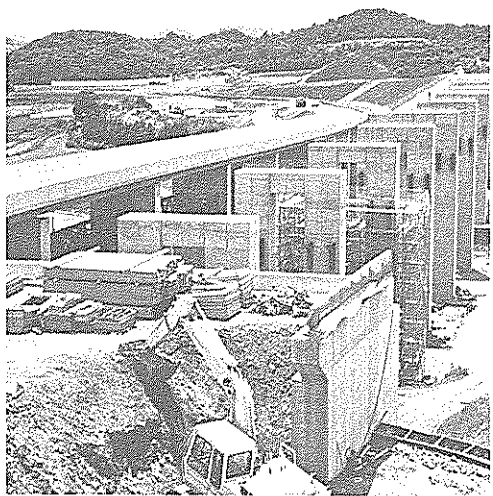
幾つかの具体的な活動も始まっています。

例えば「南門市小売サービス業活性化研究会（徳久貞弘会長）会員四十人」の旗揚げ。八十億円の流出購買力の中断を因るため、大規模なショッピングタウンを新規立地するという壮大な構想（徳久会長談）の下に、今テンポを上げて研究を進めています。

一方、新規立地もいいが、既存の中心地域を振興させようという意見もあります。後免地区公民館長の窪川茂生氏は「商業者ではな

いが後免の住人として、やはり後免とその周辺をよみがえらせたい。商業者だけでなく町内会といっしょにやたらどうか。空地を公園にするなど、できるだけ景観も修復し、お客の来てもらえる街にしたらどうだろう。やることはあるはずだ」と話しています。

更に話題になっているのが「後免土曜夜市」の十数年ぶりの復活です。若手経営者が寝食を忘れ、商売そっちのけで取り組んでいるのも、自分たちの手で地域振興をとの意欲の表れです。



完成を急ぐ四国横断自動車道

新しい……



120人の市民が参加した公開パネルディスカッション

だからといって楽観は禁物です。南門市がただの通過都市になるかも知れないという心配は、「商業地域づくりでは、赤岡、野市にも後れを取っている」（県商政課長）。「明確な概念を持った街づくり戦略がない」（地域計画コンサルタント）。「地元商業を地場産業として認識していない」（経営コンサルタント）などの専門家の指摘からみても、決して根拠がないとは言えないからです。

市商工会の吉村会長は「南門市

大きなうねりを

実行に

には基本計画ができています。内容も評価できるし、過去四回、商業診断もしている。したがって考える時期は過ぎたと思う。実行に移す時期にきた」と指摘しています。

時代に取り残されないように、数少ない可能性を生かして地域振興を模索する自治体が多い中で、南門市はあまりにものんびりしていると指摘する識者もいます。

そういう意味では、今始まった街づくりの動きがいつそう活発になり、行政とこの運動が、それぞれ

れ自立し、補完し合いながら進むことは、大いに意義があることで

す。

ハード面での街づくりには、関係者の合意はもちろん、「広い意味での市民の認識と協力が絶対必要」（市企画財政課長）だからです。

「私たちは商業者として、第一義的には南門市の商業の発展を念頭に置くが、事業者の狭い立場ではなく、マクロな視点で街づくりを考えていきたい。それによって地域の経済や雇用、文化の振興に役立っていきたく考えている。今後、大いにかんばるが、行政も本気になるべきだ」と、市商工会青年部長は語ります。

でどうやら課題曲「さくら」が合奏できました。

オリジナル曲は今年中に完成予定。「よその太鼓に負けないものにした」と先生も張り切ってお



七月十四日、土佐のまほろば囃子の練習が始まりました

土佐のまほろば囃子の船出

七月十三日、創作郷土芸能「土佐のまほろば囃子」を演奏、普及する目的で「土佐のまほろば囃子振興会」が結成されました。

会員総数三十六人。職業、年齢、男女いずれも多彩。ユニークなメンバーがそろいました。

発足総会は、東京から二人の先生、また市内各界、団体の代表者ら多数が出席。振興会の門出を祝いました。

翌日は早速練習開始。太鼓、鉦、はともかく笛が難しく、最初は息が切れるばかりで全く鳴ってくれませんでした。約二時間の練習

す。

○なお、役員は次のとおりです。

会長 浜田一雄（前浜、助役）
副会長 乾常美（左石山、文化財審議委員）
久米静彦（久礼田、農業）
事務局 高木正平（企画財政課）